

中医協概要報告（2022年1月14日開催）

1月14日に中医協が開催され、第510回総会が行われた。次回日程は未定。1月21日（金）に公聴会が実施される予定である。

サマリー

1月12日の総会で提起された診療報酬改定に係る「これまでの議論の整理案（一部修正）」について再度、議論が提起。各位側委員より若干のコメントは出されたものの了承され、意見募集にかけられることとされた。意見募集は1月14日から21日までの1週間の予定。

【第510回総会】

<議題>

- 1：最適使用推進ガイドラインについて
- 2：医療機器の保険適用に係る経緯と今後の対応について
- 3：これまでの議論の整理（案）について
- 4：令和4年度診療報酬改定について（諮問）
- 5：その他

議題1：最適使用推進ガイドラインについて－異論なく承認－

厚労省担当者より、ニボルマブ（遺伝子組換え）（販売名：オプジーボ点滴静注）につき、「原発不明癌」に係る効能追加により最適使用推進ガイドライン（以下GL）に規定するレセプト記載事項が追加（医療施設要件、治療責任者要件、診断に当たり実施した全身検索及び病理学的検査）された点。ペムプロリズマブ（遺伝子組換え）（販売名：キイトルーダ点滴静注）につき、「がん化学療法後に増悪した切除不能な進行・再発の子宮体癌」に係る効能追加によりGLに規定するレセプト記載事項が追加（医療施設要件、治療責任者要件）された点が報告され承認された。

議題2：医療機器及び臨床検査の保険適用に係る経緯と今後の対応について－異論なく承認－

厚労省担当者より、オンコタイプDX乳がん再発スコアプログラムにつき、当初昨年12月1日に保険適用予定であったが、当該プログラムの開発遅延等により安定供給が困難となったことに伴い、保険適用を急遽保留した経過を踏まえた再発防止策が提起。防止策では、プログラム医療機器のプログラム稼働につき、薬事審査の過程ではPMDA、保険適用の審議の過程では医政局経済課が当該プログラム供給企業から書面等で確認の上、当該情報を関係部署、専門組織と共有・議論する点等が示された。

また、今回の保険適用の保留に係るプログラム医療機器供給企業（エグザクトサイエンス株）については、正当な理由なく必要な報告を怠った点を踏まえ、当該企業からの再発防止策等の改善が示されるまで今後の保険適用の手続きを留保する取り扱いとされた。

議題3：これまでの議論の整理（案）について－異論なく承認－

厚労省担当者より、1月12日の総会で提出された「議論の整理案」につき、再度議論が提起。なお、今回の整理案では12日の整理案と比較して下記が変更となっている。

I-3 医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価

- (16) 地域包括ケア病棟について、一般病床及び療養病床の入院患者の特性の違いを踏まえ、それぞれの役割に応じた医療の提供を推進する観点から、地域包括ケア病棟入院料の要件及び評価の在り方を見直す。

III-4-2 質の高いがん医療の評価

- (3) 質の高い放射線内用療法の提供を推進する観点から、放射線治療病室管理加算について要件及び評価を見直す。

議論では、各改定項目について個別改定項目が提起される際にも議論が実施される点を前提に、各委員が「議論の整理案」についてコメントを行うに留まった。

まず支払側の佐保晶一委員（連合総合政策推進局長）は整理案に明細書の無料発行に関する記載がされなかった点につき、「極めて残念」とコメント。個別改定項目が提起された際に

も議論を行う事を前提に整理案について了承。松本真人委員（健康保険組合連合会理事）も佐保委員に同調すると同時に、「かかりつけ」医機能の在り方、フォーミュラリーの推進についても併せて議論を実施するよう求めた。

診療側の林正純委員（日本歯科医師会常務理事）は整理案につき、「基本的に了承する」とコメント。その上で、歯科の「神経が残存する歯の処置」や「歯冠形成」の手技料に、当該処置等に必要の浸潤麻酔の薬剤料が包括されている点につき、医療現場の実態を踏まえた早急な改善を要望した。

同じく診療側の池端幸彦委員（日本慢性期医療協会副会長）は急性期入院医療における一般病棟用の重症度、医療・看護必要度の見直しの議論につき、1月12日の総会で提起された医療・看護必要度の項目変更に係るシミュレーションでは、項目の変更によっては基準値を満たす医療機関が大幅に減少する結果となった点を強調。「コロナ禍で疲弊している入院医療機関にとって追い打ちをかける劇薬となる危険性もある」とした上で、医療現場の実態を踏まえた継続的かつ丁寧な議論を強く要望した。

議題4：令和4年度診療報酬改定について（諮問）

厚労省担当者より、後藤茂之厚生労働大臣より小塩隆士中央社会保険医療協議会会長（一橋大学経済研究所教授）に令和4年度の診療報酬改定に係る「改定率」、「改定の基本方針」につき、諮問を行う旨が報告された。

議題5：その他（改定に関するパブコメ募集、令和2年度指導監査実績について）

厚労省担当者より、改定に関するパブコメ募集に係る概要（受付期間：2022年1月14日（金）～1月21日（金）必着、提出方法：電子メールなど）、令和2年度指導監査実績につき、コロナ禍で（新規）個別指導、監査、適時調査の件数並びに返還金額が前年度比大幅減となっている点、監査拒否による保険医療機関等の指定取消処分が増加傾向にある点等が報告された。

<会内使用以外の無断転載禁止>

配布された資料は、保団連情報共有スペース「社保・審査対策」の「社保/審議会等」にて公開しておりますので、併せてご覧下さい。また、厚生労働省HPでも公開されています。
総会（第510回）：https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00133.html